Rocky work tool

RW-Tシリーズ 取扱い説明書

【スズキ・マツダ・ニッサン・ミツビシ】DA16T/DG16T/DR16T/DS16T
【ダイハツ・トヨタ・スバル】S500(P)(U)(J)/S510(P)(U)(J)
【ホンダ】HA8/HA9

品番／RW-T20〈軽トラ荷台ハイキャリア〉

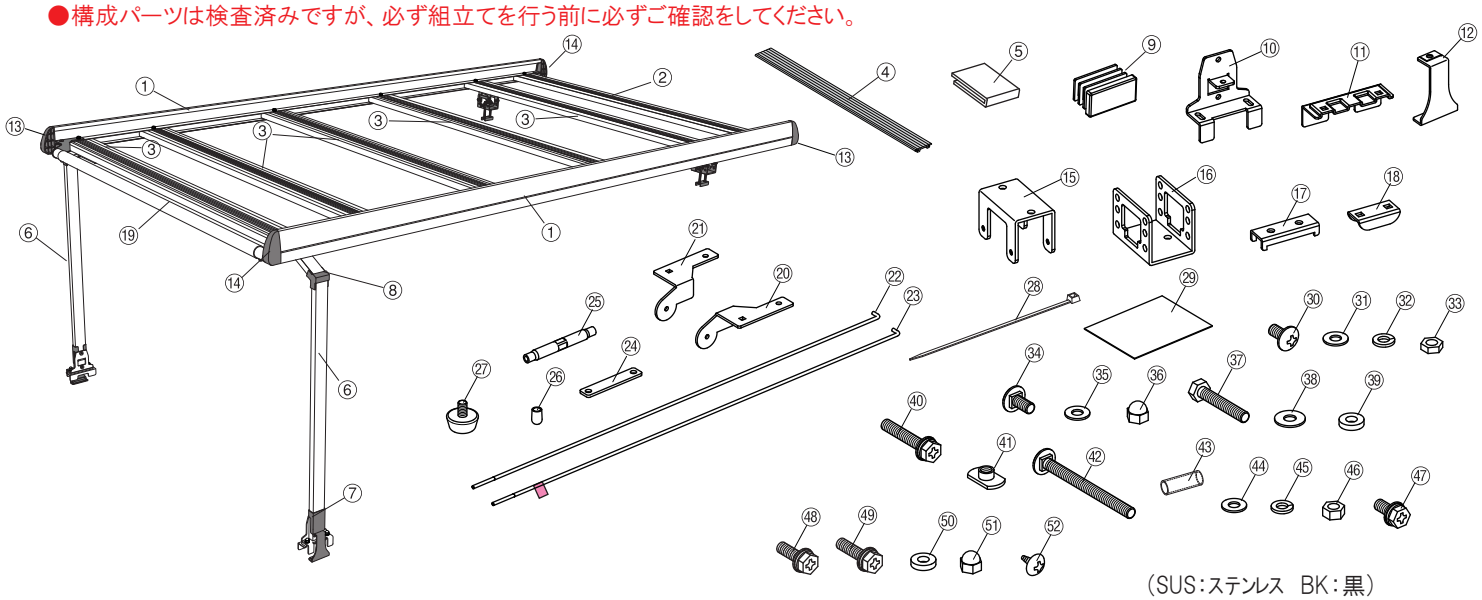
この度はロッキーワークツール**「RWーTシリーズ」**をお買い上げいただきありがとうございます。
常に安全な状態で、ご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上ご使用ください。
尚、販売店にて本製品を取付けられましたら、本書を必ずお客様にお渡しください。
製品(組立て、取付け等)についてご不明な点は、お買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。
誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。

ご使用前に

- 本製品は、**車種別の"軽四トラック専用"**となります。
  取付けを行う車両が上記に該当しているかの確認を行ってください。 他の車種には取付けできません。
- **後方のゲート(ガード、あおり)を開けての走行は絶対に行わないでください。**
- **ゲート(ガード、あおり)が「変形」「破損」「ガタツキ」などがある場合は取り付けをしないでください。**
- 本製品の取付けには「+ドライバー」「10㎜スパナ」「マスキングテープ」「物差し(コンベックス)など」
  「マジック」をご用意していたたきますようお願いいたします。をご用意していたたきますようお願いいたします。

構成パーツ

●構成パーツは検査済みですが、必ず組立てを行う前に必ずご確認をしてください。



(SUS:ステンレス BK:黒)

No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量
①	サイドフレーム	2	⑭	先端キャップ L	2	㉗	アジャスター	1	㊵	六角ボルトセットM6x35 SUS	4
②	荷受けフレーム(整流板付)	1	⑮	鳥居金具(上)	2	㉘	結束バンド	1	㊶	T型ナットM6	11
③	荷受けフレーム	5	⑯	鳥居金具(下)	2	㉙	保護シート	4	㊷	角根ボルトM6x70 BK	4
④	フレームラバー	6	⑰	挟み金具(上)	2	㉚	トラスボルト M6 SUS	4	㊸	透明チューブφ9	4
⑤	コの字ラバー	24	⑱	挟み金具(下)	2	㉛	ナイロンワッシャー M6	26	㊹	平座金M6-13 BK	4
⑥	脚ステー	2	⑲	ローラーセット	1	㉜	バネ座金M6 SUS	12	㊺	バネ座金M6 BK	4
⑦	脚ステーカバー	2	⑳	ローラー金具 R	1	㉝	六角ナットM6 3種 SUS	4	㊻	六角ナットM6 BK	4
⑧	外突カバー	2	㉑	ローラー金具 L	1	㉞	角根ボルトM6x12 SUS	6	㊼	六角ボルトセットM6x15 BK	14
⑨	脚ステー栓	2	㉒	筋交い A	2	㉟	平座金M6 (小) SUS	8	㊽	六角ボルトセットM6x20 SUS	10
⑩	脚ステーベース A	2	㉓	筋交い B **(赤テープ付)**	2	㊱	袋ナットM6 SUS	6	㊾	六角ボルトセットM6x24 SUS	2
⑪	脚ステーベース B	2	㉔	筋交い金具	4	㊲	六角ボルトM6x35 SUS	2	㊿	ジュラコンワッシャーM6	2
⑫	締上げフック	2	㉕	ターンバックル	2	㊳	平座金M6 (大) SUS	4	(51)	緩み止め袋ナットM6 SUS	2
⑬	先端キャップ R	2	㉖	安全キャップ	4	㊴	ゴムパッキン	2	(52)	タッピングビス5㎜ SUS	4

シグナルマークについて

●シグナルマークは危険のレベルを表します。
それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で、必ず記載の注意事項を守ってください。
⚠危険ー取扱いを誤った場合に、死亡、重傷の危険が発生します。
⚠警告ー取扱いを誤った場合に、死亡、重傷の危険が発生する可能性があります。
⚠注意ー取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。

取扱い上の注意

⚠注意　1車両当り最大積載重量（50kg）を守り、過積載は絶対に行わないでください。
→過積載をしますと、脱落や破損だけでなく車両の変形、積載物落下等の原因になります。
⚠注意　キャリア取付後、初期ユルミが発生しますので、定期的に各締め付け部にユルミが無いか点検してください。
→締め付け部にユルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。
⚠警告　本製品の改造は絶対に行わないでください。本製品の改造による事故責任は一切負いかねますのでご了承ください。
【例】・部品類の穴あけ及び溶接。　・本製品以外の部品による組立て及び部品交換。
⚠警告　部品不足での使用は絶対に行わないでください。

部品交換について

● 部品を破損、紛失された場合は、ご使用の品番及び「本書」の構成パーツ表の各部品名にてお買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。

事故が起きた時は

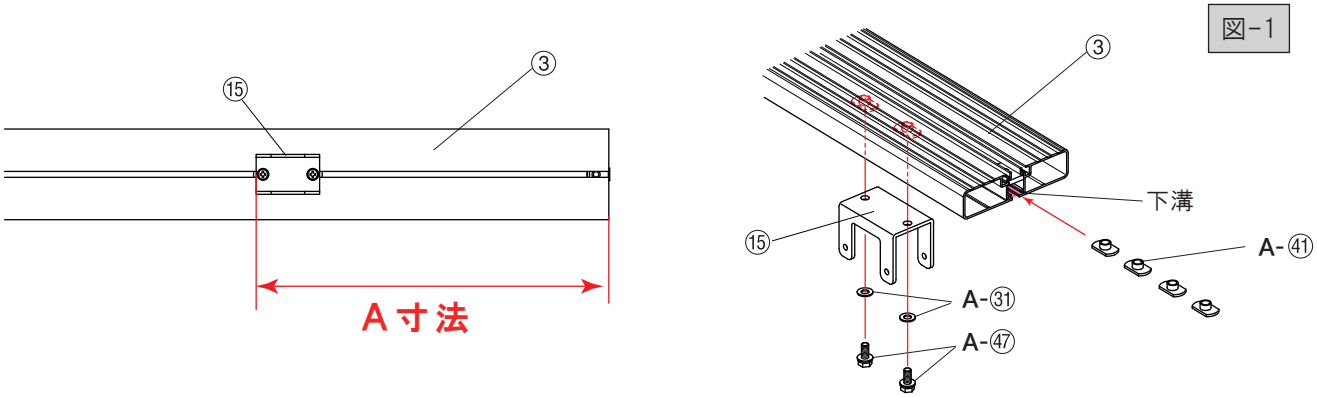
製品の欠陥等により万が一事故が発生した場合は、速やかに販売店または弊社までご連絡ください。
事故対応をスムーズに行うためにも、お客様に以下のことをご用意して頂く必要があります。
（1）事故製品の確保ー事故発生時のままの状態のもの（製品をバラバラにしない）
（2）損害の内容ー損害を受けた現物、また損害を証明できるもの
（3）事故発生状況ー日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出
（事故、紛失届）（いつ、どこで、何が、どのように）
*お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

Rocky+ ロッキープラス株式会社
〒463-0025 名古屋市守山区元郷2-107　TEL(052)778−7876　FAX(052)778−7718
HP https://www.rocky.ne.jp　E-mail rocky@rocky.ne.jp

組立て方法①

1. ③荷受けフレーム1本に⑮鳥居金具上を2ヶ取付けます。
③荷受けフレームの下溝に ㊶T 型ナットM6を片側2ヶずつ、計4ヶを通しておきます。
⑮鳥居金具(上)を下記、取付け車種の寸法［A寸法］に合わせ、㉛ナイロンワッシャー、㊼ 六角ボルトセットM6×15 BKにて③荷受けフレームに組付けます。〔図-1〕

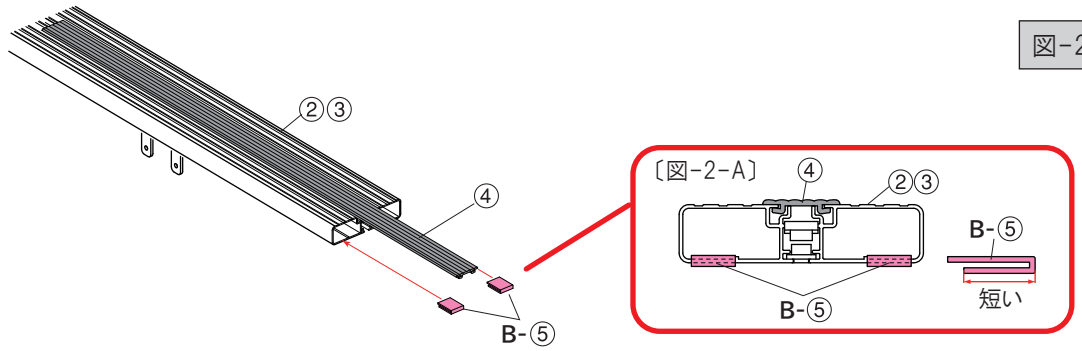
図-1



A寸法	メーカー	車種	車両型式	メーカー	車種	車両型式
277mm	ダイハツ	ハイゼットトラック	S500P/S510P系	トヨタ	ピクシストラック	S500U/S510U系
	スバル	サンバートラック	S500J/S510J系			
340mm	スズキ	キャリイトラック	DA16T系	マツダ	スクラムトラック	DG16T系
	ニッサン	NT100クリッパー	DR16T系	ミツビシ	ミニキャブ	DS16T系
398mm	ホンダ	アクテイトラック	HA8/HA9系			

2. ②③荷受けフレーム、の上溝に④フレームラバーを6本通し、両端下面に⑤コの字ラバーを差し込みます。
この時、⑤コの字ラバーのベラが短い方を下にしてください。〔図-2〕

図-2



3. 【脚セット】を2セット組立てます。
1) ⑥脚ステーに⑦脚ステーカバーを通します。〔図-3〕
2) ⑩脚ステーベースAと⑪脚ステーベースBを㉞角根ボルトM6×12、㉛ナイロンワッシャー、㉟平座金M6-13、㉜バネ座金M6、㊱袋ナットM6にて⑪脚ステーベースBが動く程度で**仮組み**します。〔図-4〕
3) ⑥脚ステーと⑩⑪脚ステーベースABセットを【い】【ろ】【は】の順番で仮組みします。〔図-5〕

図-3

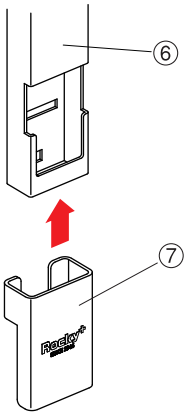


図-4

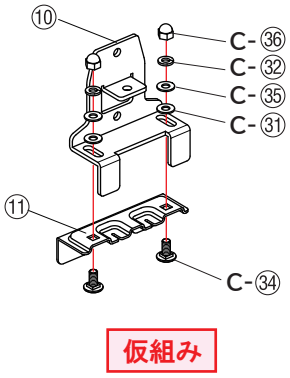
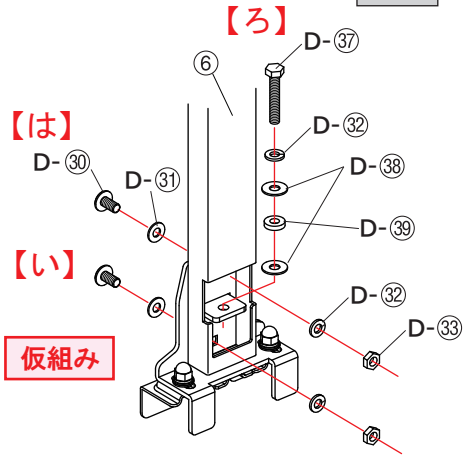


図-5



組立て方法②

4. 【キャリア枠】を組立てます。(⑤コの字ラバーの外れに注意してください)
①サイドフレームに②③荷受けフレームを「6本」差し込みます。(片側ずつ組立てます)

・「前」から 2 番目の丸穴には、②荷受けフレーム(整流板付)を差し込み、㊽六角ボルトセットM6×20にて組付けます。この時、必ず「整流板」が荷受けフレームの【後】にある状態にしてください。〔図-6-A〕

⚠注意ー整流板が【前】にある状態では、高速走行時に異音が発生します。

・「前」から 3 番目の丸穴には、「組立て方法①-1」で組付けた、③荷受けフレーム(鳥居金具上付)を差し込み、㊽六角ボルトセットM6×20にて組付けます。この時、前もって㊶T型ナットM6を、**片側1ヶずつ**③荷受けフレームの下溝に通しておいてください。〔図-6-B〕

・「前」から 4 番目の丸穴には、③荷受けフレームを差し込み、㊽六角ボルトセットM6×20にて組付けます。この時、前もって㊶T型ナットM6を、**運転席側のみ1ヶ**③荷受けフレームの下溝に通しておいてください。〔図-6-B〕

・「後」から 2 番目の丸穴には、③荷受けフレームを差し込み、㊾六角ボルトセットM6×24にて**仮組み**します。この時、前もって㊶T型ナットM6を**片側2ヶずつ**③荷受けフレームの下溝に通しておいてください。〔図-6-B〕

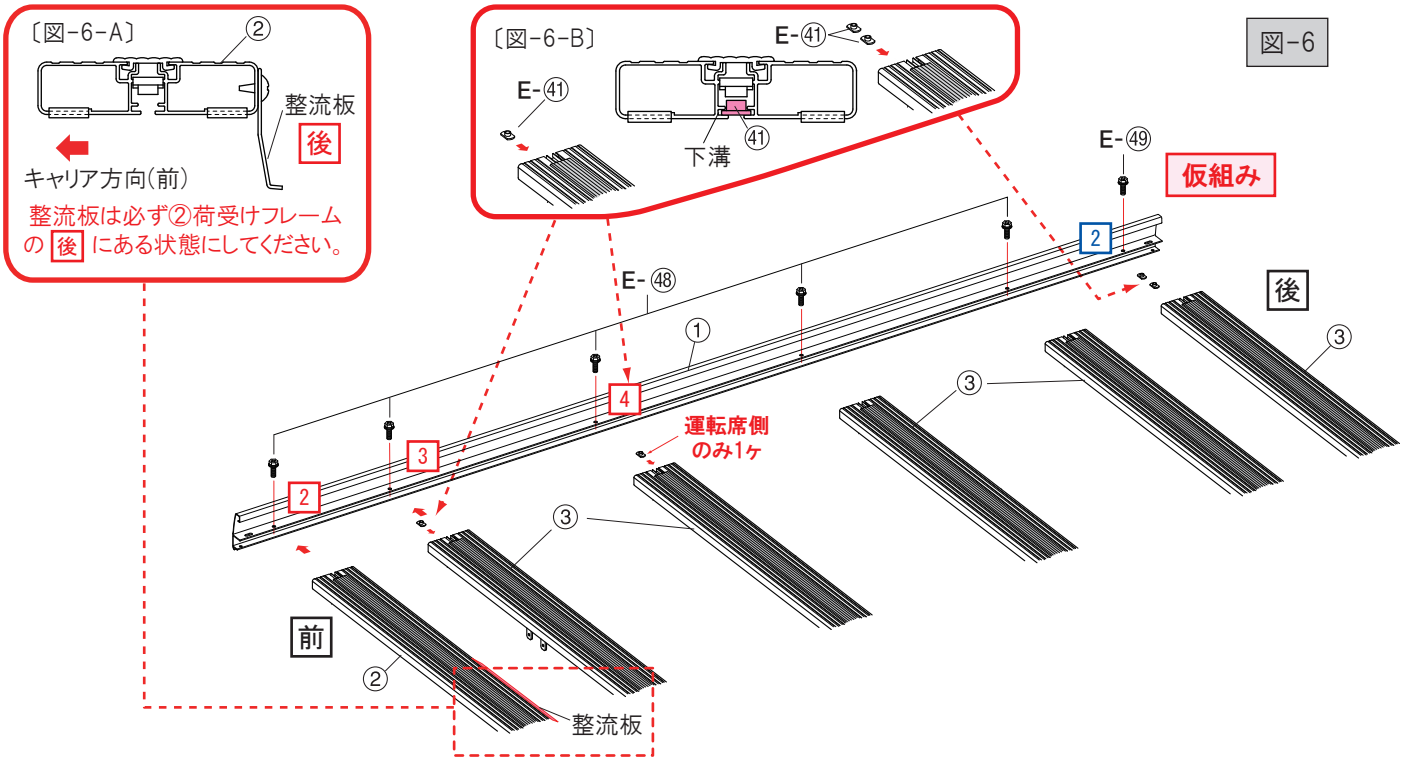


図-6

取付け方法①

1. キャビン後方の「鳥居枠」の上部に㉙保護シートを貼ります。〔図-7〕
「鳥居枠」上部の中心を計り、マジック等でマーキングをし、左右均等に下記取付け車種の寸法 **[B寸法]** になるように、㉙保護シートの100㎜側を横にして「鳥居枠」全周を巻き込むように左右2か所貼ってください。

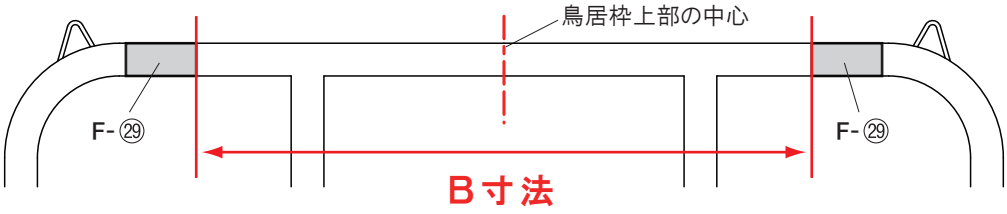


図-7

B寸法	メーカー	車種	車両型式	メーカー	車種	車両型式
749mm (374.5mm)	ダイハツ	ハイゼットトラック	S500P/S510P系	トヨタ	ピクシストラック	S500U/S510U系
	スバル	サンバートラック	S500J/S510J系			
623mm (311.5mm)	スズキ	キャリイトラック	DA16T系	マツダ	スクラムトラック	DG16T系
	ニッサン	NT100クリッパー	DR16T系	ミツビシ	ミニキャブトラック	DS16T系
507mm (253.5mm)	ホンダ	アクテイトラック	HA8/HA9系			

※(000mm) はB寸法の 1/2 です

取付け方法②

2. 「鳥居枠」の上部に【⑯鳥居金具(下)】を左右2セット取付けます。
⑯鳥居金具(下)の内側が下記、取付け車種寸法［C寸法］になるように、「鳥居枠」の上に載せます。
※この時、「鳥居枠」にフォグランプやプロテクターが装着されている車両はフォグランプを避け⑱挟み金具(下)を内側に左右均等に寄せて⑯鳥居金具(下)が取付けできる位置までモールをカットして取付けを行ってください。

〔図-8〕

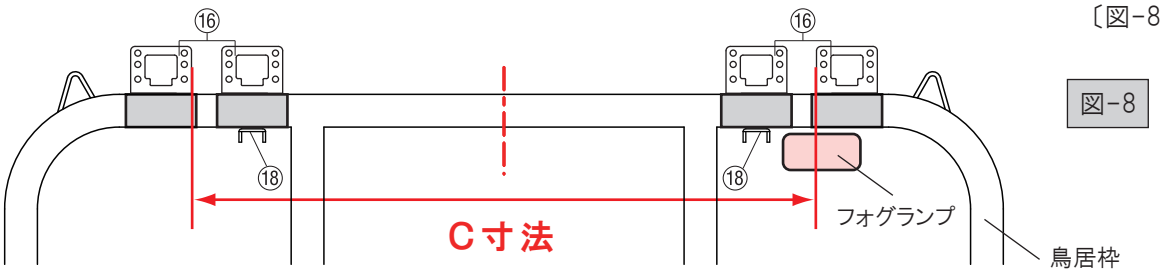


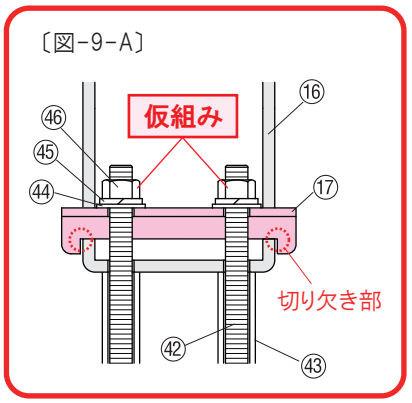
図-8

C寸法	メーカー	車種	車両型式	メーカー	車種	車両型式
779mm (389.5mm)	ダイハツ	ハイゼットトラック	S500P/S510P系	トヨタ	ピクシストラック	S500U/S510U系
	スバル	サンバートラック	S500J/S510J系			
653mm (326.5mm)	スズキ	キャリイトラック	*DA16T系	マツダ	スクラムトラック	*DG16T系
	ニッサン	NT100クリッパー	*DR16T系	ミツビシ	ミニキャブトラック	*DS16T系
537mm (268.5mm)	ホンダ	アクティトラック	HA8/HA9系			

※(000mm) はB寸法の 1/2 です

3. ⑱挟み金具(下)の角穴に㊷角根ボルトM6×70 BKを通し、㊸透明チューブ差し込みます。
※ホンダ・アクティトラック(HA8/HA9)に取付けの際は、鳥居枠の高さが「30㎜」の為、㊸透明チューブを10㎜カットしてください。
「鳥居枠」を挟む感じで、⑯鳥居金具(上)の丸穴に通し、⑰挟み金具(上)を⑯鳥居金具(上)の横穴から入れ、㊹平座金M6 BK、㊺バネ座金M6 BK、㊻六角ナットM6 BKで**仮組み**します。〔図-9〕
この時、⑰挟み金具(上)の切り欠き部と⑯鳥居金具(下)の組込みを確認してください。〔図-9-A〕

〔図-9-A〕



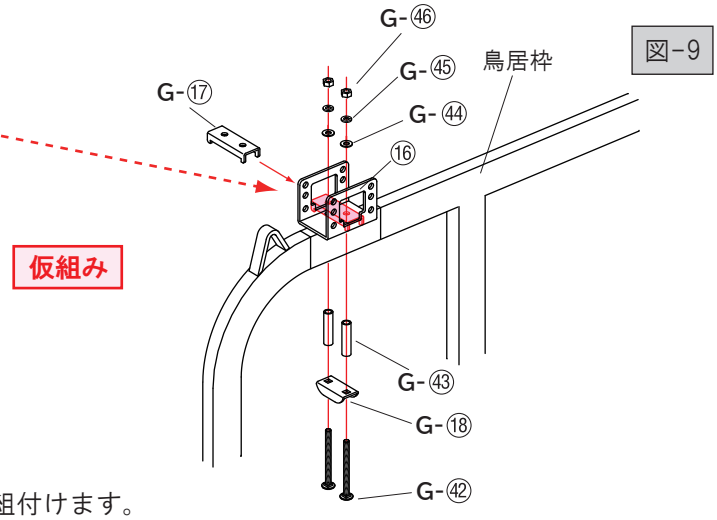


図-9

4. 【キャリア枠】の最後部に⑥脚ステーを左右2か所組付けます。
⑥脚ステーの先に⑨脚ステー栓を打ち込みます。(2本)
「組立て方法②」で組立てた【キャリア枠】を裏返し、最後部の③荷受けフレームの下溝に前もって通しておいた**片側2つ**の㊶T型ナットM6に、⑥脚ステーの丸穴を合わせ、㊵六角ボルトセットM6×35、㉛ナイロンワッシャー、㉔筋交い金具**(外側のみ)**で**仮組み**します。〔図-10〕この時、⑥脚ステーと⑨脚ステー栓までの距離を左右2か所**「175㎜」**に合わせておきます。〔図-10-A〕

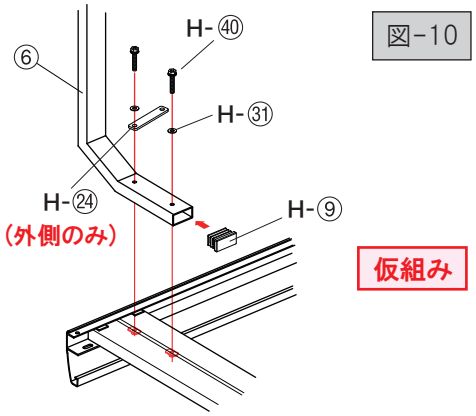
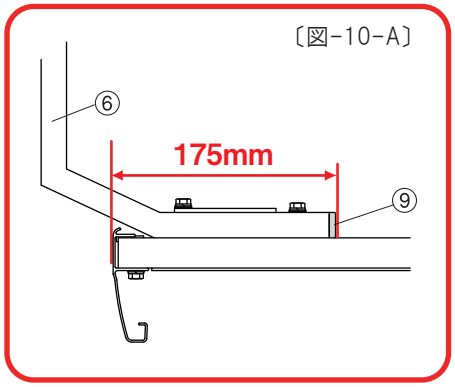


図-10

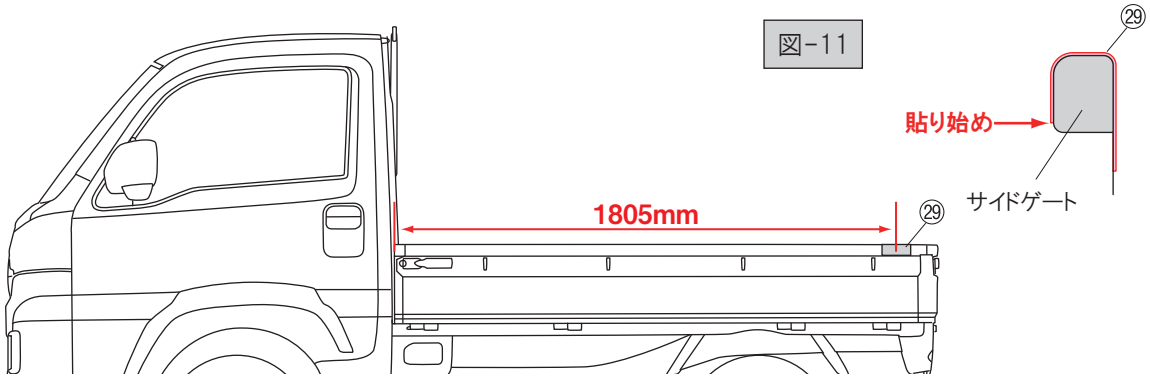
〔図-10-A〕



取付け方法③

5. ゲート(3方)を車両のレバーにて閉じます。ゲートの上部の「塵・油膜」などを取り除いてください。
サイドゲートの先端から「1805㎜」の所に、㉙保護シートの中心が来るようにをマーキングをして貼ります。
㉙保護シートを貼る際は、130㎜側を横にして「サイドゲート」に左右対象に2か所貼ってください。〔図-11〕

図-11



⚠注意 車両に取付ける際は危険な為、必ず3人以上で行ってください。

6. 「4」で裏返した【キャリア枠】を正規の向きに戻し、⑥脚ステーの下部に取付けた、⑩脚ステーベースAと⑪脚ステーベースBをサイドゲートの後方に貼った ㉙保護シートの中心付近に載せ、サイドゲートの幅に押し付けて挟み込み、「組立て方法①-3ー図4」で仮組み状態の㊱袋ナットM6を**本締め**します。〔図-12〕
※純正品のゲートカバー付きの場合はそのまま挟みます。
そして、前方に組付けた⑮鳥居金具(上)と「鳥居枠」に組付けた⑯鳥居金具(下)を組付けます。
この時、車種によって「組付け穴」の位置が異なる為、下記「組付け表」に準じて組付けを行ってください。
⑯鳥居金具(下)の穴位置を確認後、⑯鳥居金具(下)の内側に⑮鳥居金具(上)を入れ、㉛ナイロンワッシャー、㊼六角ボルトセットM6 BKにて締付けます。〔図-13〕〔左右8か所〕
締付け後、「取付け方法②-3」で仮組み状態の㊻六角ナットM6 BKを**本締め**します。〔左右4か所〕

ポイント キャリア枠の仮載せ → ⑩⑪をサイドゲートに載せる → ⑮と⑯を組付けて㊻を本締め → ⑪のすわりを整えて㊱を本締め

図-12

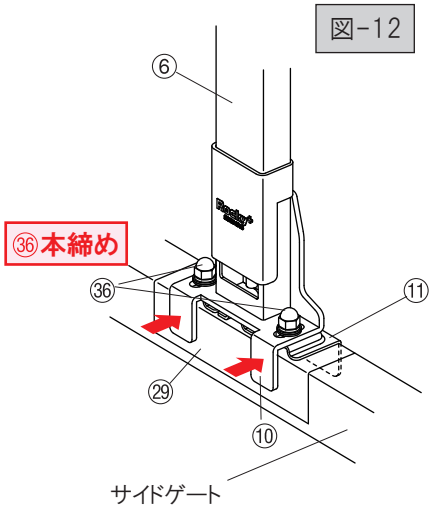
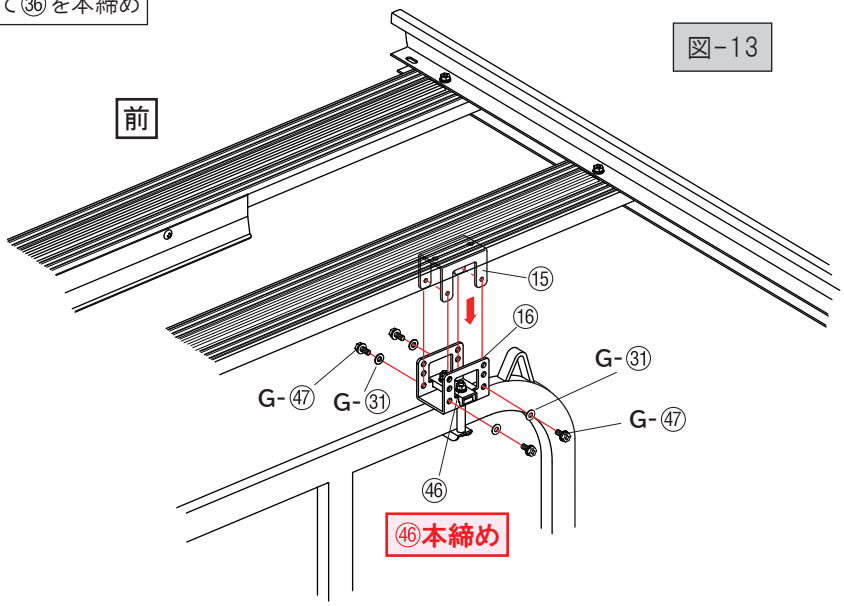


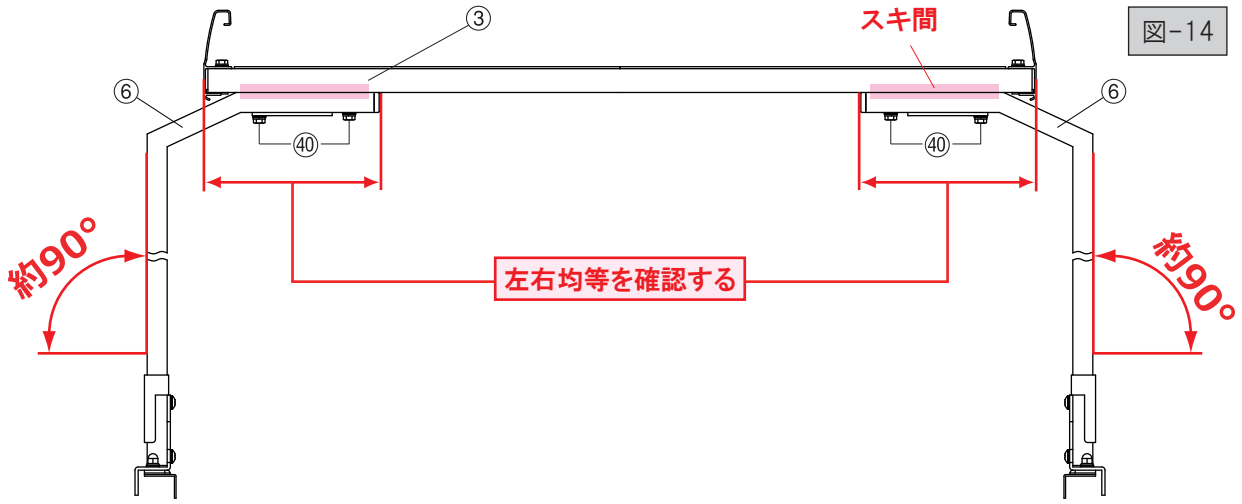
図-13



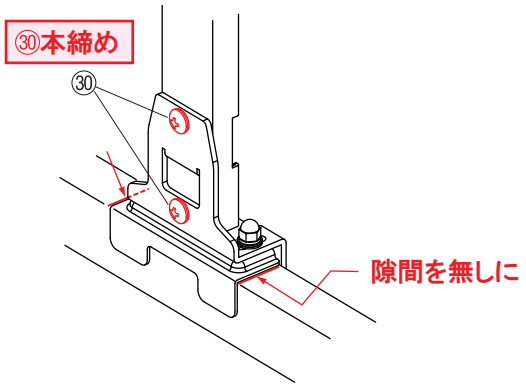
⑯鳥居金具(下)組付け穴位置	メーカー	車種	車両型式	メーカー	車種	車両型式
下	ダイハツ	ハイゼットトラック	S500P/S510P系	トヨタ	ピクシストラック	S500U/S510U系
	スバル	サンバートラック	S500J/S510J系			
中	スズキ	キャリイトラック	DA16T系	マツダ	スクラムトラック	DG16T系
	ニッサン	NT100クリッパー	DR16T系	ミツビシ	ミニキャブトラック	DS16T系
上	ホンダ	アクティトラック	HA8/HA9系			

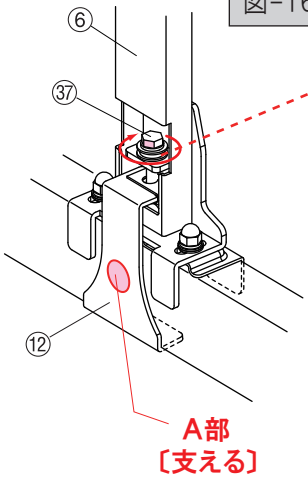
取付け方法④

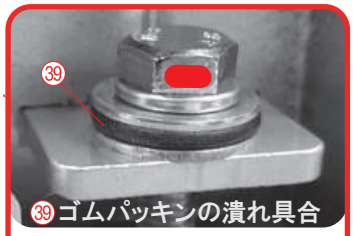
7. トラック荷台後方から見て、【キャリア枠】の⑥脚ステーの出具合を左右均等に調整します。
この時、⑥脚ステーは③荷受けフレームとのスキ間が無いかの確認を行ってください。
確認後、㊵六角ボルトセットM6×35をしっかりと**本締め**します。〔図-14〕



8. ⑪脚ステーベースBの両端が傾きで隙間のないことを確認後に「組立て方法①-3-図5」で仮組み状態の㉚トラスM6を、(+)ドライバーとスパナ(10㎜)で**本締め**します。〔図-15〕
その後、⑫締上げフック下部をサイドゲートに引っ掛け、上部は⑥脚ステーの切り欠き部に入れ、㊲六角ボルトM6×35を指先にて数回転ねじ込み、**A部**を支えながら、スパナ(10㎜)で締上げます。〔図-16〕
※締上げ量は【㉜バネ座金M6が閉じた頃から２回転】です。

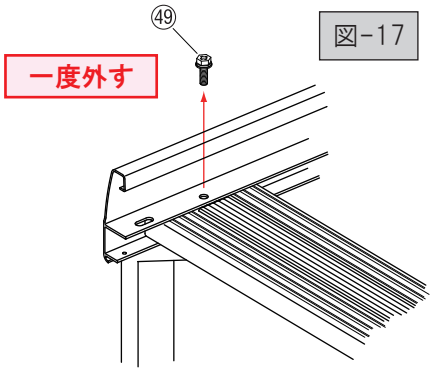


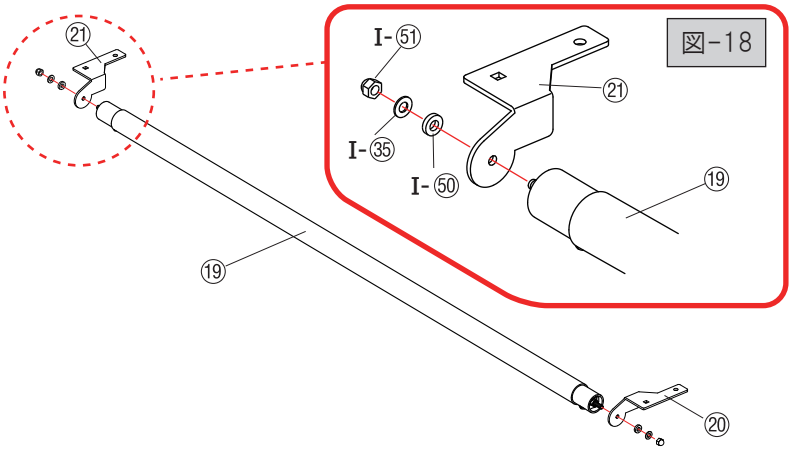




ポイント
㊲六角ボルトM6×35にマーキングをして、2回転を正確に行い、㊴ゴムパッキンを半分ほどに潰します。

9. 【キャリア枠】の最後部にローラーを取付けます。
「組立て方法②-4」で最後部に仮組みしている㊾六角ボルトセットM6×24を一度外します。〔左右2か所〕〔図-17〕
⑳㉑ローラー金具RLの丸穴に⑲ローラーセットの両端ボルトを通し、㊿ジュラコンワッシャー、㉟平座金M6-13、
㊶緩み止め袋ナットM6にて**軽く指で回す程度の仮締め**をしておきます。〔図-18〕





取付け方法⑤

10. 「9」で一度外した ㊾六角ボルトセットM6×24の所に⑳㉑ローラ金具R/Lの前の丸穴を合わせ、再度 ㊾六角ボルトセットM6×24で③荷受けフレームと共締めし、後の角穴には、㉞角根ボルトM6×12を通し、下から㉟平座金M6-13、㉜バネ座金M6、㊱袋ナットM6にて締付けます。〔図-19〕
その後「9」で仮締め状態のローラ両端部の ㊶ 緩み止め袋ナットをゆっくりと締付けます。
締付けの際は ⑳㉑ローラ金具R/Lと⑲ローラーセットの末端が「2㎜程度」の隙間が空き、ローラーがスムーズに回転する事を確認してください。〔図-19-A〕

⚠注意ー 締め過ぎにより、⑳㉑ローラー金具とローラー末端が接触し、ローラーが回転しなくなります。
両方の隙間を確認しながら、交互に締付けを行ってください。
㊶緩み止めの袋ナットを使用の為、完全に締付けなくても緩む事はありません。

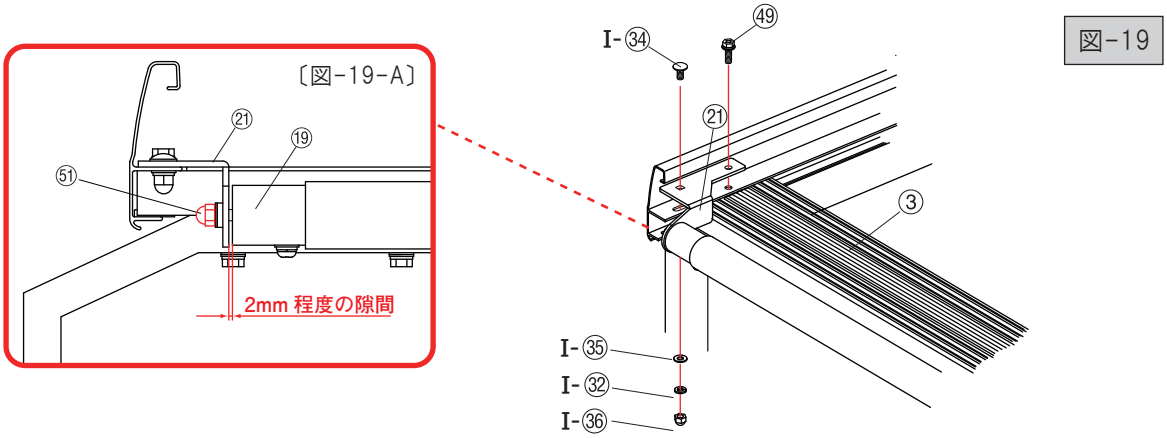


図-19

11. 「取付け方法②-4」で 3 の③荷受けフレームに前もって通しておいた㊶T型ナットM6、〔左右各1ヶ〕に㉔筋交い金具を㉛ナイロンワッシャー、㊼六角ボルトセットM6×15 BKで締付けます。
締付けの際は、①サイドフレームの下のツバから内側へ「100㎜」の位置で、「30°」ぐらい内側に傾けて締付けます。〔図-20-A〕

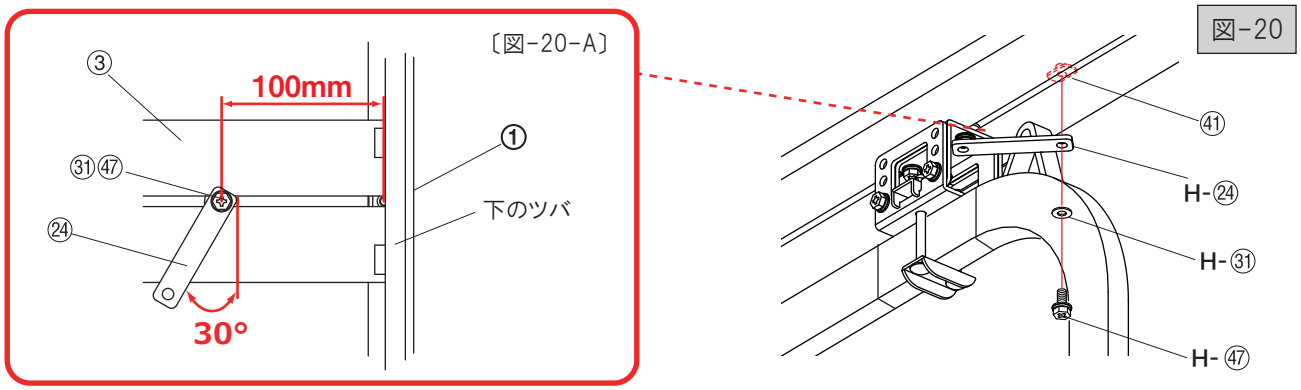


図-20

12. ㉒筋交いAと㉓筋交いB(赤テープ付)を ㉕ ターンバックルで連結させます。〔2本〕
㉒筋交いAのネジ山に㉕ターンバックルの「GB」マーク側を「左回転」で〝10㎜〟ほど回します。
その後、㉕ターンバックルの反対側に ㉓筋交いB(赤テープ付)のネジ山を「右回転」で〝10㎜〟ほど回します。
〔図-21〕

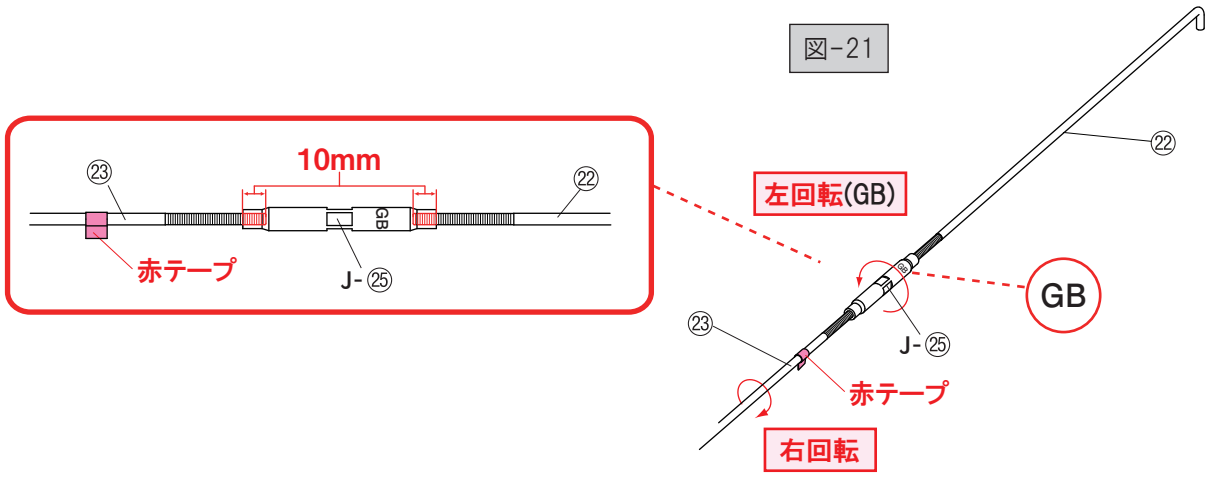
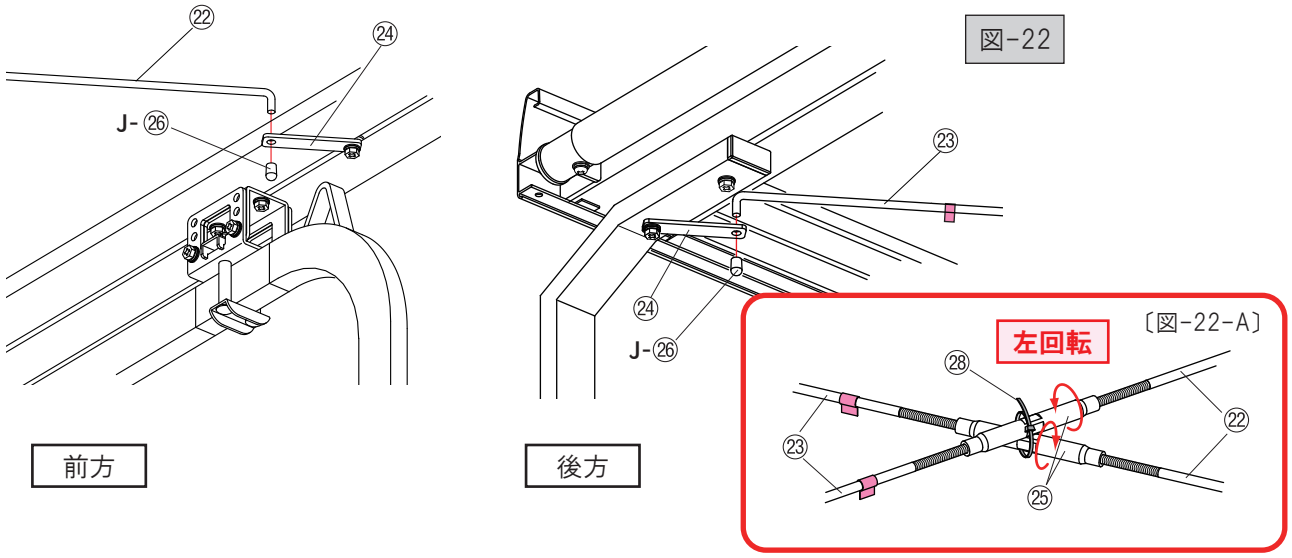


図-21

取付け方法⑥

13. 「取付け方法②-4」と「取付け方法⑤-11」で取付けた ㉔筋交い金具の丸穴に「12」で連結した筋交いのＬ型先端を通し、㉖安全キャップを差込みます。
Ｌ型先端を通す際は、1.「運転席側前方」と「助手席側後方」　2.「助手席側前方」と「運転席側後方」の順でクロスさせ、※1.の下に、2.が通ります。
「前方側」に ㉒筋交いＡを、「後方側」に㉓筋交い金具Ｂ(赤テープ付)を通します。〔図-22〕
その後、クロスしている2つの㉕ターンバックルを**「左回転」**で手締め又は、10㎜スパナでガタツキのない程度に締上げ、締上げ後、2つ重なった ㉕ターンバックルを ㉘結束バンドで固定します。〔図-22-A〕
※この作業終了後、㉓筋交い金具Ｂ(赤テープ付)の赤テープを取り外してください。

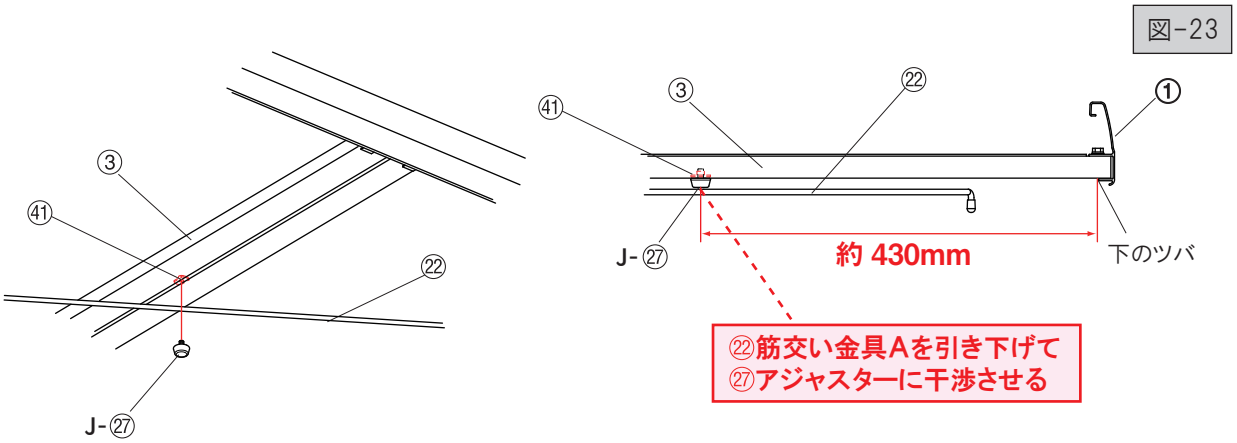
図-22



14. 「組立て方法②-4」で 4 の③荷受けフレームに前もって通しておいた ㊶T 型ナットM6、〔運転席側のみ1ヶ〕に㉗アジャスターを取付け、①サイドフレームの下のツバから内側へ「約430㎜」の位置へ移動させ、㉒筋交いＡが ㉗アジャスターの中央を通るように微調整を行い固定します。
そして、㉒筋交いＡが③荷受けフレームに接触しないように、㉗アジャスターの下に引き下げて干渉させてください。〔図-23〕

⚠注意ー 走行による振動で干渉音(金属音)が発生する為、必ず組付けを行ってください。

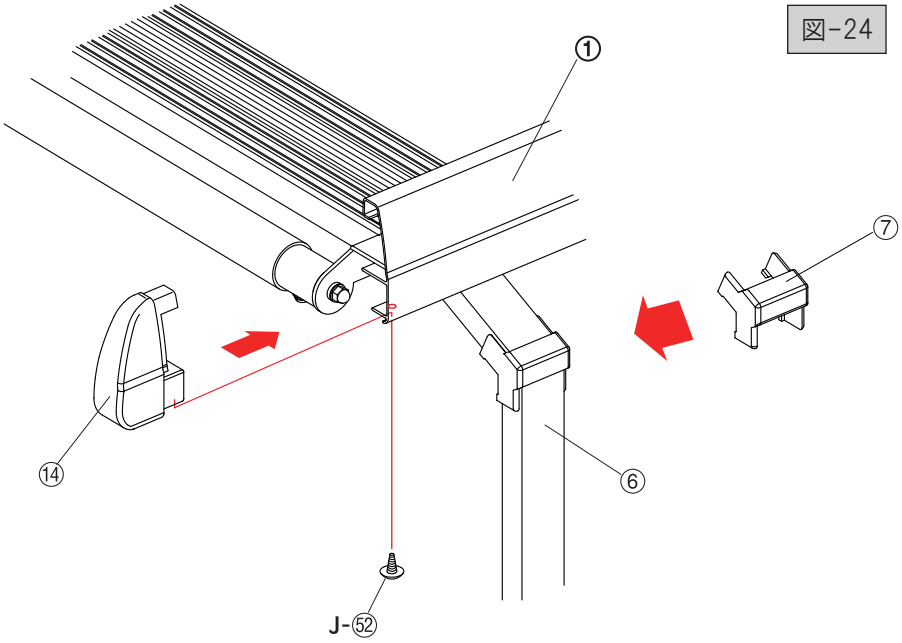
図-23



取付け方法⑦

15. ①サイドフレームの両端に⑬⑭先端キャップRLを差込み、下から㊷ タッピングビス5㎜にてしっかりと締付けます。
そして、⑥脚ステーの上部に⑦脚ステーカバーを被せながらはめ込みます。〔図-24〕

図-24



16. 取付け終了後、①サイドフレームを上下左右に揺すり、ガタツキが無いことを確認してください。
ガタツキがある場合は再度、取付けをやり直してください。

⚠注意ー キャリアを取付け後、初期段階では走行によるユルミ、ドアの開閉によるユルミが発生します。必ず定期的増し締めを行い状態をご確認ください。。